

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第5号

令和8年4月24日（金）発行

■大学って、こんなところだった！～OGからの大学紹介レポート～

昨年度前女を卒業した先輩たちも4月から新学期。新しい環境のもとで戸惑いつつも刺激的な毎日を送っているようです。高校生の皆さんにとっては大学生の生活がどのようなものなのか、高校生と何が違うのか、今ひとつピンとこない人もいるでしょう。そこで、大学1年生の先輩から、「大学って、こんなところだった！」というレポートを集めてみました。パンフレットには現れないリアルな大学生の日常が見えてきませんか？大学というものを身近に考えるひとつの材料にしてみたいかがでしょうか。



○大学は、自分で動けば、想像以上にいろんなチャンスに飛び込める環境でした。私は先日、インターンの面接をしました。大学一年生では早すぎますが、やってみたかったので、自分で企業を見つけて応募しました。他にも、大学外の人と関われるチャンスが無限大にあるので、最近、連日いろんな社会人の方と meet を繋いでいただいております。これからも、4年間を通してたくさんのことに挑戦したいです。それでも、前女の生活が恋しいし、わからないことは自分でなんとかしないとイケないのが辛いです。（群馬大学 Tさん）

○大学は、授業ごとに建物が違うことが多く、たった10分の休み時間で1号館の3階から3号館の2階に移動しなければならぬといったようなことがあり初めのうちは大変です。授業は高校より深く、難しい内容をやるので90分があっという間に終わってしまいます。コマ数は高校より少ないですが、一つ一つの教科書がずっしりしているのでリュックは高校生の時と同じくらい重いです。トートバッグで行くのは無理でした。（群馬大学 浅見さん）

○新入生の周りに新歓ロードができて先輩方に囲まれます！！（東北大学 Iさん）

○東北大学には190以上の部活・サークルがあり、4月は新歓がとっても活発です。私も医学部サークルを中心にほぼ毎日いろんなサークルの新歓に行っていてとても楽しいです。先輩から大学生活について色々教えてもらえる良い機会でもあります。また、サークルや授業など様々なところで他の学部の人とも仲良くなれます。私は入学式で隣になった法学部の子とご飯やお花見に行ったりして仲良くしています。

学業の面では、研究や留学に強い関心のある同級生が周りにたくさんいて、日々大きな刺激を受けています。大学にはやりたいと思ったことはとことんやれる環境が整っているので、自らアクションを起こしてこの環境を利用していくことが大切だと痛感しました。また、授業はグループワークや課題が多く内容も高校より難しいので、同じ学部の人と情報交換して助け合う雰囲気が強いです。私は高校で物理選択でしたが医学部には生物の授業があり、正直びっくりするほど分かりませんでした！でも何人か集まって勉強会をして、生物が得意な子に教えてもらうことでどうにか頑張っています。

入学してまだ10日余りですが、とても充実した日々を送っています。前女の皆さんも、大学生活を思い描きながら前女ライフを思いっきり楽しんでください！！（東北大学医学部医学科1年 Mさん）

○授業を一から自分で組むのが新鮮！履修登録は大変だけど、自分で何を学ぶかをカスタマイズできて楽しいです！あと同じ授業に先輩がいたり、同級生に年上がいたりするのが大学！って感じて好きです（交友の輪も広がるし！）。友達とお昼を食堂や外で食べたり、空きコマにパソコンをカタカタしながら課題をしたり…高校のとき思い描いていたThe・大学生な日々を送ってます！（東京外国語大学 Aさん）

○人生初めて学校に徒歩で行くようになり、毎日健康に歩いてます。電車に囚われないで行けるの最高すぎ!!!都心なので立派なビルの中にひっそりとマツキヨやらスーパーが潜んでるのに驚く日々です。新宿駅周辺をまるで群馬における高崎のように扱ってる自分が存在し始めてるのが恐怖ですね、成長ってやつでしょうか。

都心にあるからか周りの子は東京、神奈川、千葉出身の実家から通ってる子が多くて自炊を褒められます、嬉しいことで

す(決して実家から都心に通えないことをバカにされてるわけではないと願いたい)。まだ群馬どころか北関東仲間に会えてないので早く会いたいところです。

履修登録は諸先輩方が仰ってたような『好きな授業取り放題!!』って感じではなかったですね笑。他学科の授業も取れるところが大学の魅力です。私は法学部の比較政治論、総合グローバル学部の国際関係論入門、神学部の宗教史、文学部の舞台芸術の授業を取りました。これから授業が始まりますがすごく楽しみです。

前女…というか女子校出身の弊害を見事抱え、未だに殿方とお話出来てません。何を話せばいいんですか彼らと。おててを繋いでいる諸先輩方をお見かけすると眩しく感じます。暫くはリハビリの日々です。(上智大学 Oさん)

○色んな考えを持つ人がいます！カフェテリアに留学生がたくさんいてお話しするのが楽しいです。

自分から動かないといけません。たくさんの部活や活動があるので、自分で興味のあることに向き合っていくことが大事だと思いました。でも、先輩や先生方が優しいので、わからないことがあったり、不安なことがあったらすぐに聞ける環境があるので安心です！（国際教養大学 Nさん）

○本当に授業が楽しいです！自分で時間割を組み立てて、必要な単位を取れるようにと考えるのは大変でしたが、自分の興味がある分野についてだけを学んで良い環境は、まるで天国です！！必修の授業も楽しんだもん勝ちですよ。授業を担当する先生方は全員その分野だけに人生を捧げているプロ（オタクとも言う）なので、わたしは日々、自分の世界がどんどん広がっていく感覚に酔いしれています。

大学に入ると、急に「楽単」（ラクに取れる単位）が話題にのぼります。出席を確認しないとか、テストが全てテキストから出るだとか……先輩に「楽単」を教えてもらう子も多いです。ですが、前女で真剣に学んでいるみなさんは、「楽単」に惑わされず、自分がやりたい&自分のためになる授業を履修してもらいたいと切に思います。そのほうが、充実した学びを得ることが出来るのではないかと思います。（國學院大学 Hさん）

○同級生のほとんどが知らない子で、県外の子や浪人生の子も多く入学時のオリエンテーションで友達があっという間に増えました。友達が多くいると、楽単(楽な単位)の情報とか、部活の情報とか多く手に入るの積極的にかしめていくと大学生活が充実すると思います。あと、部活の勧誘がすごいです。ご飯会とかでタダ飯ばかり食べてます。サークルもいろいろな種類があるので、自分の興味のあるところに行ってみるとより生活が充実すると思います！（群馬大学 Fさん）

○英語に力を入れている大学なので、4月1日に新入生全員がTOEFL-ITPを受けました。そこで500点を取らないとPractical Englishという必修が課されてしまいます。この授業、絶対に1限に入るんです！3年生にあがるまでに500点、または500点相当の別の英語試験(英検準一級等)を取得しないと3年生にあがることができず留年です。私は無事500点を取れたので必修の授業は単位取得認定となり、その先のAdvanced Practical Englishという授業を取ることにしました。必修や前提科目といった高校になかった概念に少し戸惑いながらも、新しくできた友達と楽しく授業を受けています！（横浜市立大学 Mさん）

○大学入学してから、様々な部活やサークルに先輩達からよく誘われます。新入生を歓迎するための色々な企画が多く、例えば、お食事会(大体タダ!)やいちご狩りなど、色々参加してみると、とっても楽しいです。今まで出来なかったことを思いっきり楽しめるのは大学の良いところだと思います。(群馬大学 Oさん)



東北大学工学部 Oさんのレポートをもとに作成